

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		浜松市根洗学園					公表日 令和7年3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 ・ 運 営 ・ 体 制 整 備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	11	3	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい記事や文書等を持参しているが、必要に応じて教具実物をもって行けると良い。 担当同士で話し合って対応している 教員や保護者に対して必要時に、資料を手渡ししている。 訪問先学校の業務に支障が出ないように、長時間の滞在にならないようにする。 図ごとに時間を調整して訪問している。 	訪問先との対話や支援内容の共有についてが保護者及び、事業の報告として発信していく事も必要。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	10	<ul style="list-style-type: none"> 全然足りていない。利用回数を限定しているが、本来であれば保護者のニーズ、計画の作成やケース検討等も丁寧に行えるよう、1人20ケースほどが妥当。現在は1人で40~100ケースで対応している。 一回に複数人を担当する等合理化を計っている 支援計画の作成や訪問報告を対面実施することが難しい家庭が、一定数あることは課題。 人数が少なく、手一杯の所がある 人手不足で訪問頻度が限られていると感じるため、もう少し人数が増えると良い。 訪問支援員の人員を増やしていただきたい。 人数が足りない。 いろんな職員が経験し、毎日通園においてはケース担当が対応できると良い。 利用希望者が増えている現状の中では職員数を増やせると良いが、クラス体制も厳しい中では難しい。 訪問希望数がとても多いように感じる 	希望者数に対して見合った数の職員の配置ができるない為、担当者を増やしていく事が必要。	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	4	<ul style="list-style-type: none"> これから意識して進めようとしている。 報告を多くの関係する職員に伝えています 忙しいため、難しいことがある 	月に一度担当者で会議を行っているが多様な職員の参加が叶うよう、会議の内容の差別化を図っていく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	訪問前に保護者の思いは聞き取るようにしてきているが、十分時間をかけて行うのは難しい。	より多くの利用者から意見を集められるよう、アンケート等を実施していく。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> これまでには不定期に意見交換の機会が設けられていたが、今後は計画的に進められそう 訪問担当職員は会議等もうけ、改善できる。またクラス職員の意見も聞き取る時間があると良い。 	会議の場面等で担当者で行っているが、定期で全体会議にも問題提起していく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4		第三者による外部評価を行っていないため、今後どのように進めていくのか施設内で検討が必要である。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> 勤務日に合わなかったり、訪問関連の業務と重なったりして研修に出席できていない 保育所等訪問に際する全職員向けに、方向性やこれだけは絶対に！等の基本的な研修ができたら良いと思う。 研修等の情報はいただくことがある。 地域園との研修会のような機会があるとより良いかなと思います。 	月に1度の会議または、課題として、学習の機会を設けていく。 外部での研修の情報を伝えて行く。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> 担当の子供について十分な情報を得たり、理解したりしての訪問となっていないのが現実なので、反省している。 人数が多いため時間が足りない 	幼児期から学齢への引継ぎが丁寧に行われるよう、書類の作成方法の時間を作っていく。 保護者の了解のもと児が関わっている機関と連携し、情報交換して行く。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> 担当する子どもの抱えている課題がどのようなものか、資料や聞き取りから理解しようと努力はしているが、十分にはできていない。 人数が多いので大変。 	現行の担当のみではなく、前任者も参加できるような方法を検討していく。	

適切な支援の提供	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	14	0	訪問先の協力を得て考へるようにしている。	担当者との日程調整が難しい。訪問に行った際に意向の確認をして行く。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	・回数多く訪問し聞わっていくことが難しい。 ・併行通園は評価表などは用いていないため観察評価が中心となっている。フォーマルなアセスメントの実施を話し合う必要があると感じる。	共通のアセスメントツールを用いて子どもの様子を聞き取り、観察している。フォーマルアセスメントは、医療で行ってないケースもあり、まばらである。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	4	・単独で訪問する場合、打ち合わせが不十分な時がある。 ・行っているが直前、簡単なことが多い。クラスの職員内でも話し合ったり、訪問に行く職員との連携はお互いに意識して話し合えると良い。	担当者会議で丁寧に行っていく。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	2	・疑問点は持ち帰り、他の職員と検討しているが、全てのケースではない ・訪問しての様子は共有する努力はしている。	訪問担当者がそれぞれ外出していることが多く、毎日の振り返りは難しい。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	14	0		
	17	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1		
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
関係機関や保護者との連携	20	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	12	2		必要に応じて情報交換やケース会議を実施している。
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	1	就学時は1学期に必ず1回は訪問するようにしている。ケース担当と児発管とで園に訪問し、子どもの状況や親御さんについて話す機会を設けている。	園と支援内容について方向性が違うことがある。園の先生に学園での様子見て頂き、お互いの子どもへの理解を統一して行く。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	3	・ベストスタッフの先生にも研修に参加していただける機会があると良い。 ・事例研修に参加	次年度は、教育委員会を招いたりし、研修会を実施していく。
	23	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	8	・児発の職員が参加していますが、学校の情報をえられる機会にもなるので、報告や内容の共有があると良いと思います。	職員に対して自立支援協議会について説明する機会を設ける。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	1		
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6	・保護者のニーズがないこともあります。今年度は実施していません。 ・学園として取り組んでいる ・研修の機会は少ないと思います。 ・保護者に対して家庭で出来ることの提案をしている	
	26	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1	年度末や適時必要な時に行っている	
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	14	0		
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		

保護者等への説明等	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	12	1	年度末のガイダンスや適時必要な時に、説明と同意を得ている	
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	2	・適時行っている為、保育所等訪問を利用していない月に相談があることもありますが、各自対応しています。 ・ケース数の多さから大変さが大きいように思う。	
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	10	事業所としては行っているが、保育所等として、となると保護者が集まる機会はない。どのような立ち位置でできるといいのか？	保護者のニーズを確認しながら検討していく。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	1	要望があっても日程が合わずすぐに対応できないことがある。	訪問については、園や学校の予定もあるためすぐに対応することの難しさがある。児が関わっている関係機関と連絡を取り、どのような支援をすることが良いか考えて行く。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	7	保育所等訪問に関しては情報の発信が少ないと思う	園だより等への掲載を行っていく。 法人HPやSNSでの発信も検討して行く。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	利用を開始する際に、個人情報についての取り扱いの説明・管理する担当者・同意書を取っている。書類、ケース数共に多く書類の所在がわからない事態もあった為、園内で取り扱いや回観の方法に工夫ができると良いか。	場所の確保から整備を進めていく。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	報告を家庭訪問で実施するようにしている。訪問時に話した内容を書いて渡している。	
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	14	0		
訪問先施設への説明等	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	11	3	実施している。先方が時間がとれない時は後日電話で行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	14	0	電話か面談で報告を行なっている	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	学園の個人情報の取り扱いについてや担当者について説明をしている	訪問用の個人情報の取り扱いについて検討して行きたいと考えています。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	13	1	訪問先の学校等からの質問があればできるだけ答えるようをしているが、現状では一緒に考えていく方向。	
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	3	保育所等に特化したものはないため、事業所として行なっている。	お互いのマニュアルについて確認し、足りないところは作成していくことを検討する
非常時等の対応	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	2	保育所等に特化したものはないため、事業所として行なっている。	お互いのマニュアルについて確認し、足りないところは作成していくことを検討する
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	1	終礼や職員会議で報告し、分析、方向性を行っている	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	2	職員会議にてミニ研修の実施・年度末に職員全体研修を行っている。職員に対してストレスチェックを毎月行っている	意識を高めるためにチェックリストの実施
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	2	職員に対しての研修の実施 やむを得ず行う時には、保護者に説明し同意書に記入して頂いている 経過記録も作成している	